



ひろば



令和3年5月31日 発行

シンボルツリー：ブーゲンビリア

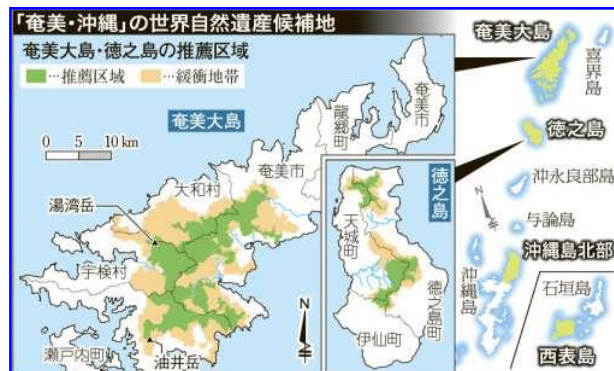
奄美の自然を守る一翼を担う

校長 久永 浩幸

梅雨に入り、毎日雨の日が続いています。山々を見ると、木々の緑が一雨毎に濃くなってきているような気がします。また、花壇に目をやると、マリーゴールドやサルビアが日に日に大きくなってきています。さんさんと照りつける太陽と夏の到来を今か今かと待ちわびているようです。

世界自然遺産登録の勧告

今月10日、奄美・沖縄の世界自然遺産登録について、ユネスコの諮問機関であるIUCNが「登録は適当」と勧告しました。これを受けて、7月に行われる世界遺産委員会で正式に登録が決まる



見通しになってきました。

奄美大島本島においては、住用のマングローブ群生地を中心とした、本島のほぼ南半分が推薦区域になっています。また、ここ住用にはアマミノクロウサギをはじめとする希少生物が多く住んでいます。今後、本校区は、ますます脚光を浴びていくでしょうし、あわせて全国各地からの観光客も増えていく事が予想されます。

リュウキュウアユ保護活動

本校は、ヤジの会（リュウキュウアユ保護活動団体）の支援を受け、リュウキュウアユの保護活動15年目を迎えました。毎年、リュウキュウアユの学習や観察会、親子での産卵地清掃等を行っています。本校がこの活動に取り組むようになったきっかけは、15年前、リュウキュウアユが1500匹ほどまで減少し、このままでは絶滅の恐れがあることを知ったことにあります。自分たちの学校のすぐ前にある役勝川や住用川に住んでいる魚なのだから、自分たちにも何かできることはないのかと考えたのです。

今月、環境省による野生生物保護功労者表彰があり、**本校は全国で2校だけが選出される「文部科学大臣賞」を受賞しました。**これは、これまで地道に継続してきた保護活動に対する表彰であり、大変名誉なことだと思っています。

奄美の一員として

先日の新聞に、希少動物の車での事故数が増加しているという記事がありました。確かに、世界自然遺産登録は大変喜ばしいことです。しかしながら、そのために希少動物たちの命が失われることがないようにしていかなくてはなりません。学校では、社会科や総合的な学習の時間等において、環境学習を進めています。環境保全と観光をどう両立させていくかということは、大人でも難しいテーマです。しかしながら、自分なりに考えさせ、意見をもたせることは大切な事です。今後も、**保護活動等に積極的に取り組ませ、奄美の一員としての自覚を育てていきたいと考えています。**

絆を深めた 校内相撲大会

ドスコイ!

令和三年五月八日(土)
住用場所 開催



5月8日(土)に校内相撲大会がありました。昨年度は、コロナウイルス感染防止のために実施できませんでしたが、今年は感染防止対策をとり、子どもたちが体と体をぶつけ合い、絆を深め合うことができました。また、当日はたくさんの保護者の方々にも観戦いただきました。おかげさまで、手に汗握る熱戦となり、住用小のよき伝統を感じ、受け継ぐことができる一日となりました。



住用の子に光を!



5月24日(月)に奄美市教育委員会学校訪問がありました。要田教育長先生をはじめ、18名の関係の皆様にご来校いただきました。各教室の授業の様子も丁寧に見ていただき、御指導いただくことができました。当日は、子どもたちが真剣に授業に取り組む姿がたくさん見られました。



【5, 6年生の授業風景(算数)】



【4年生の授業風景(算数)】

人権教室「人権の花運動」

住用支所の協力の下、人権教室を実施しました。差別のない、平和な社会を築くことの大切さを学びました。自分とみんなの幸せを願って...



6・7月の行事予定

<6月>

- 1日(火) プール開き
 - 2日(水) 歯科検診
 - 4日(金) カヌー体験
 - 22日(火) 宿泊学習(～24日)
 - 30日(水) 水泳学習発表会
- 学級 PTA, 学校保健委員会

<7月>

- 7日(水) 第1回学校評議員会
- 10日(土) リュウキュウアコ観察学習
- 20日(火) 終業式(夏休み～8/31)
- 愛のパトロール
- 22日(木) 親子理科教室
- 28日(水) 市小学校水泳記録会

